

Global Mobile Strategic Partners (GMSP)

グローバル・モバイル・ストラテジック・パートナーズ 概要

ディエスピーリサーチ株式会社
青山センター
新田哲也
gmsp@dspr.co.jp



GMSPとは

- 国際標準モバイル規格試験の事業を国内でサポートすることを目的とし、JATE・SPORTON・DSPRの3団体で事業提携しております
- 国内メーカーが海外展開するにあたり、複雑な各種試験・認証がひとつのボトルネックでしたが、当アライアンスがワンストップサービスにて請け負うことにより、高い利便性と短納期を実現いたします

CTIA
The Wireless Association®

GCF
Global Certification Forum



PTCRB
PCS Type Certification Review Board

FC

CE



JATE

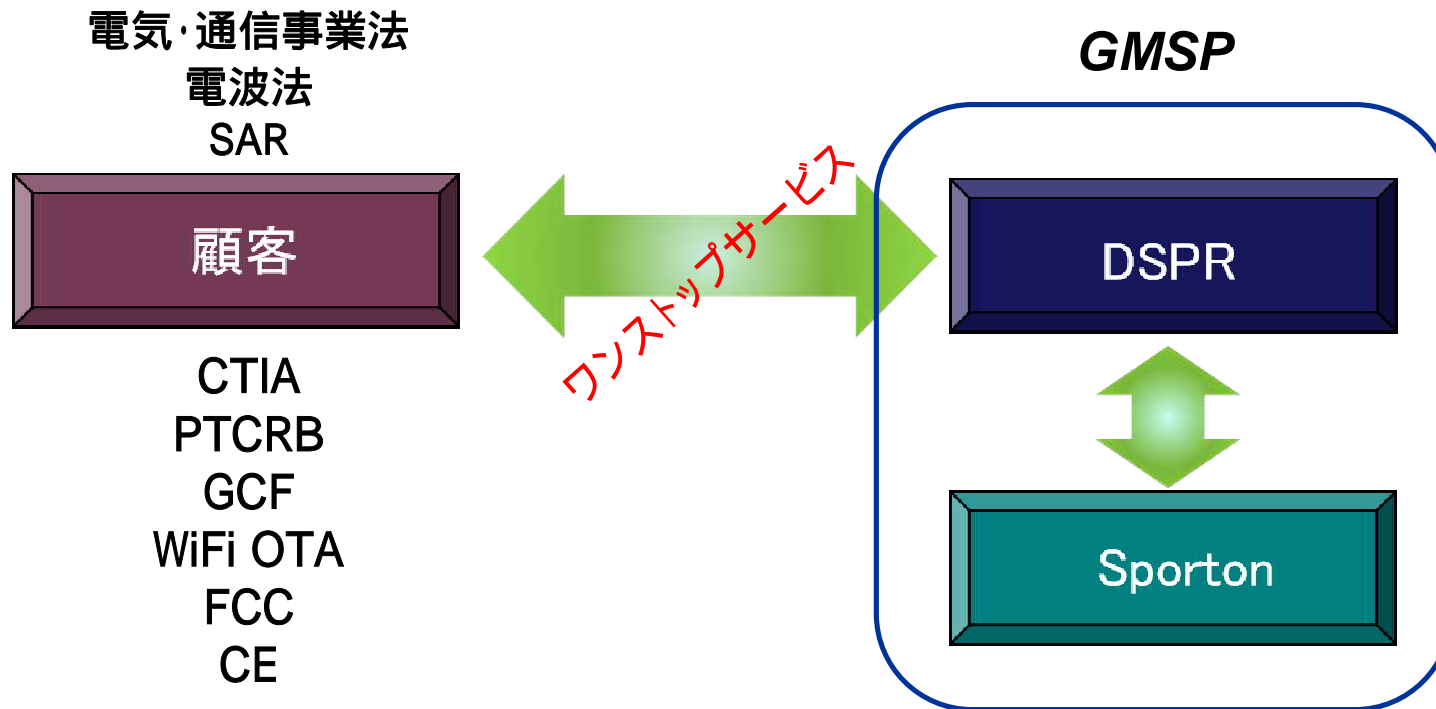
dsp DSP Research
with the partner

業務形態

- 認証・試験事業の一環として、従来の電波法・電気通信事業法の対応のみならず、国際標準モバイル規格試験についても試験・認証業務に対応いたします
- モバイル機器メーカーのグローバル展開を支援することにより、顧客とのさらなる緊密な連携に努めます
- さらに、SAR(局所吸収比率測定)へ対応することにより、モバイル機器に要求される試験・認証をワンストップ窓口で請け負います
- ワンストップサービスによって顧客の利便性を向上するとともに、短納期を実現いたします



ワンストップサービス



上記に関する試験・認証業務



対象規格概要

- 強制規格

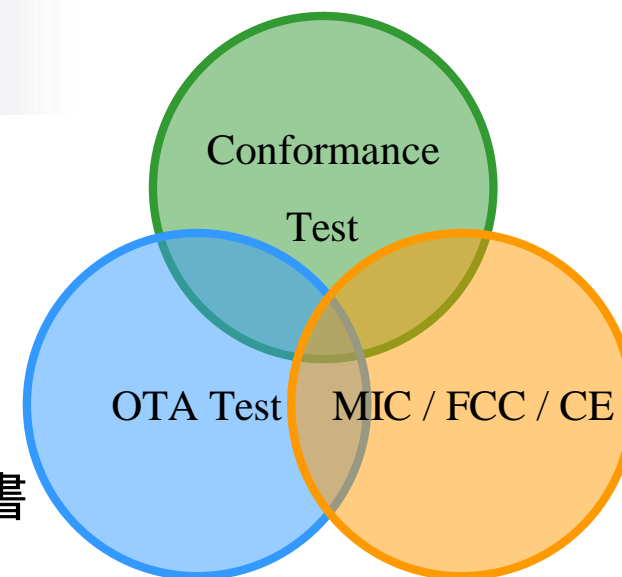
日本	: 電波法・電気通信事業法・SAR
米国	: FCC / TCBの証明書
欧州	: CE / 自己適合宣言書
他国	: 大半は監督局か証明機関の証明書

- 接続性適合規格 (Conformance Test)

GCF	: 自主規格ですが、欧州通信事業者が要求
PTCRB	: 自主規格ですが、北米通信事業者が要求

- 電波放射規格 (OTA test : Over The Air)

CTIA OTA	: 自主規格ですが、北米通信事業者が要求 基本的にPTCRBにおいては必要とされます
Wi-Fi OTA	: 自主規格ですが、PTCRBにおいて必要な試験



国内強制規格への対応

- 電気通信事業法
 - 全ての技術基準に対応し、各種法改正について迅速に対応します
- 電波法
 - 全ての技術基準に対応し、短納期を実現します
 - 試験立ち会い等のご要望についても柔軟に対応します
- SAR
 - 局所吸収比率測定を短納期で実現します
 - 各種法改正について迅速に対応します



海外強制規格への対応

- FCC : 米国市場向け
 - CFR47 part15 電波法および電気通信事業法関連
- CE : EU市場向け
 - EN60950 電波法および電気通信事業法関連
- その他 : アジア各国等
 - 適宜対応いたします



GCF (EUおよびアジア向け国際標準モバイル規格)



- Global Certification Forum 欧州標準化団体
GSM・WCDMA通信事業者、通信機器試験所及びメーカーで構成
- グローバルな認証システムを確立し、携帯機器とGSM・WCDMAネットワーク通信事業者間の相互運用性を確認することを目的とします
- GCF OTA
必要条件 : GCF-CC v3.33.0もしくは 次のバージョン
試験基準 : 3GPP 34.114
評価基準 : 3GPP 25.144
試験条件
 - 試験帯域 : すべてのUMTS帯域
 - TRP : Total Radiated Power (総合放射電力)
 - TRS : Total Radiated Sensitivity (全等方感度)



PTCRB (北米向け国際標準モバイル規格)



- PCS Type Certificate Review Board
北米GSM・WCDMA通信事業者で構成
- GSM/WCDMA のテストプランを提供し、モバイル端末を認証するのが主要な活動です
- 関連のある試験要件と証明方法を策定しております
- 証明カテゴリ
 - 新規申請
 - 既証明の製品に類似する変更申請
 - ECO : ハードウェアまたはソフトウェアバージョンのアップグレードに限定
以下の変更においてはECO申請はできません
製品モデル名・ナンバー、FCC ID、Industry Canada ID、機能変更



CTIA (北米向け国際標準モバイル規格)



- Cellular Telephone Industries Association 米国セルラー通信工業会
- CTIA OTAとWi-Fi OTAはPTCRBにおいて必要要件となっています
- モバイル機器の無線放射特性の評価試験 (Test plan rev.2.2.2)

TRP: Total Radiated Power (総合放射電力)

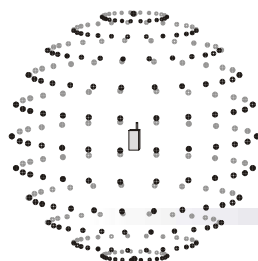
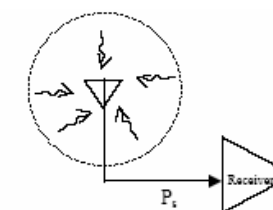
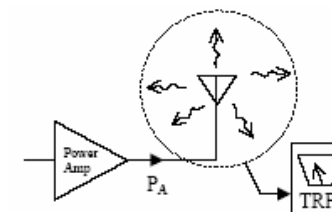
- 発信時の空中線電力と空中線効力に対する試験

TIS: Total Isotropic Sensitivity (全等方感度)

- 受信時の空中線電力と空中線効力に対する試験

Intermediate Channel(中間チャンネル)

- 受信時における受信感度とシステムノイズレベルに対する試験



WiFi OTA (PTCRBの必要要件)

- Wi-Fi OTAテストを行うときには、二つ送信機の稼動が必要
 - Wi-Fi + GSM
 - Wi-Fi + WCDMA
 - Wi-Fi + CDMA
- 試験項目
 - 異なるデータモードでの空中線電力/空中線受信感度/TRP/TIS/WiFi受信感度劣化/携帯系機器受信感度劣化
- 試験チャンネル
 - 中間チャンネルと最上位チャンネルおよび最下位チャンネル
- 試験モード
 - フリースペース(Wi-Fi VoIPがある場合は、通話ポジションも含む)



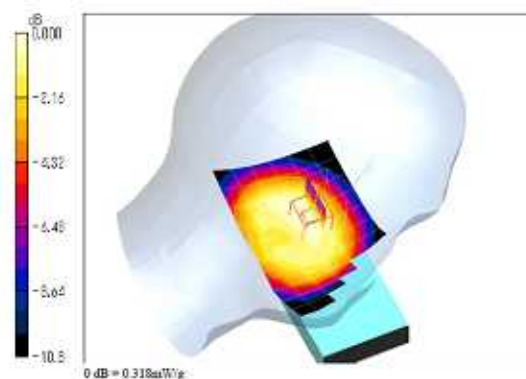
各種OTA試験を国内で実施(予定)

- 各種OTA試験で必要とされる試験設備を国内に導入予定です
GCF・CTIAの認可を受けた設備としては国内唯一となります
- 「試験立ち会い」や「認証に向けた事前試験の実施」等もご要望により柔軟に対応いたします



SAR (比吸収率)

- 局所吸収検査測定
- 国内に試験設備を既に導入しております
- 現行の「側頭部対象 (IEC62209-1相当)」へ対応済みであり、将来適用される「頭部・胴体・四肢対象 (IEC62209-2相当)」についても対応予定です
- 短納期にて対応します



連絡先

ディエスピーリサーチ株式会社
青山センター
新田哲也
gmsp@dSpr.co.jp

